



名護市教育委員会
学校教育課インフォメーション

ゆいむん

令和3年度
No. 11

令和3年5月12日(水)
(担当): 上里 喜史

「授業を中心とした学校づくり研究事業」 大北小学校編

GW明けの5/10(月)、大北小学校では村瀬公胤先生をお招きして、午前中(3, 4校時)授業参観→5校時は各学年代表の先生と振り返り→6校時に公開授業(6年3組:古我知拓也先生)→授業研究会が行われました。今回はその様子をお伝えいたします。

☆授業参観・振り返りから

4月を「土台づくり」と位置づけ、子どもたちの様子をよく見つめ、1年を通して伝えたいメッセージを考えながら実践する期間としてきた、という校長先生の説明通り、子どもたち



も先生方もとても穏やかな雰囲気の中で授業が行われていました。各学級の参観時間は3~5分ではありましたが、全学級の授業と児童の様子をみることができました。その中で村瀬先生は子どもたちに「学びを欲する目」があるか、をみておられ、それを大事にする授業改善のアドバイスをおこなっていました。

☆公開授業・授業研究会から

公開授業は、研究主題「自ら進んで学び合う子どもの育成」~1人1台のタブレット端末の効果的な活用を目指して~の下、クロムブックを活用した調べ学習や、コロナ禍において筆談を利用した学び合い等、提案性のある「チャレンジした授業(本人談)」でありました。

授業研では全職員が観察した児童の様子を30秒ずつ発表し、授業者が見えなかった個々の学びの場面が共有されました。そうすることで「学ぶ」とはどういうことかという「子どもという存在の研究(村瀬先生)」が行われ、授業者も参観者もみんなが学ぶ校内研になる、というお話しに多くの職員がうなずきながら聞いていました。

子どもたちのために日々試行錯誤しながら奮闘している先生方にとって、多くの示唆のある有意義な校内研であったと思います。

頑張っている子どもたちと「チームマジ大北」職員の前向きな雰囲気多くの可能性を感じた1日でした。ありがとうございました。

